

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東亜大学
設置者名	学校法人東亜大学学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
人間科学部	心理臨床・子ども学科	夜・通信	14	0	95	109	13	
	スポーツ健康学科	夜・通信			94	108	13	
	国際交流学科	夜・通信			12	26	13	
医療学部	医療工学科	夜・通信		0	105	119	13	
	健康栄養学科	夜・通信			34	48	13	
芸術学部	アート・デザイン学科	夜・通信		0	30	44	13	
	トータルビューティ学科	夜・通信			68	82	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.toua-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/jitumu_jugyou2025.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	東亜大学
設置者名	学校法人東亜大学学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.toua-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/R07.06yakuin.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	R7.6.21 ～ ※	法律担当
非常勤	浄土宗住職	R7.6.21 ～ ※	総務担当
(備考) ※選任後 4 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終 結の時まで			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東亜大学
設置者名	学校法人東亜大学学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業科目については、シラバスに「授業の一般目標」「授業の到達目標」「各回のテーマ、授業内容を明記した授業計画」「準備学習の内容」「成績の評価法」「テキスト・教材・参考書」「受講上の注意点・その他」の項を設け、学内の教務システムおよび大学HP上で公表し、本学生及び一般の方も閲覧できるように公表している。 またシラバスには学期が始まる前にその授業科目の教育目標を提示し、期の終了時点で科目担当者が作成する自己点検評価表も合わせて提示している。 各教員がシラバスを適正に作成しているかどうかについては、各学科より選出されている教学部委員が第三者としてチェック・指導を行い、教学部長に報告することとしている。	
授業計画書の公表方法	https://www.toua-u.ac.jp/campus-life/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本学では東亜大学学則に則り、授業科目の学修成果について、学則に基づき厳正なる評価を行っている。原則として全授業時間数の3分の2以上出席した科目(科目によっては5分の4以上)についてのみ、定時試験を受験することができる。成績評価については授業科目のシラバスに明記され、学生にも公開されており、それに基づき教員が評価を行っている。 教学部委員会が学生に授業評価アンケートを実施しており、学修意欲をはじめとした結果についてそれぞれの授業にフィードバックするよう、担当教員に報告している。この各授業科目の授業評価アンケートについてはそれぞれのシラバス上にアップされ、公開となっている。 卒業及び進級については、学則に従い、卒業要件、進級要件を満たしているかどうか2月に実施される卒業判定、進級判定の教授会で確認している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) GPA制度を導入し学生指導を行っている。履修登録期間でのGPAによる履修指導をはじめ、本学では前期に2回、後期に1回、担任による学生への面談を実施しているが、その際の参考データとしても有効活用されており、このGPAの評価は学生もポータルサイトにおいて確認できるようになっている。 GPAの算出方法は、成績評価S(100～90点)をグレードポイント4点、A(89～80点)を3点、B(79～70点)を2点、C(69～60点)を1点、不合格を0点とし、科目の単位数×グレードポイントの総和を履修登録科目の総単位数で割ったものである。 1年次後期以降に2期連続GPAが1.0未満となった学生については、保護者に連絡を取ったうえで面談を行い、厳重注意及び学修指導を行っている。該当する学生は次学期には担任以外の指定された教員による面談を毎週行うこととなっている。 1年次後期以降に3期連続で学期のGPAが1.0未満となった学生については、教授会の議を経て、学部長により退学勧告を行うと定めている。ただし上記の面談状況を勘案し、勧告に猶予を与える場合があることも明記しており、本人の状況・意欲を考慮しながら適切に実施するように心がけている。 2022年度からは、GPAを基準として各学科の成績優秀者を表彰し、学生の学習意欲を高める取り組みを行っている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.toua-u.ac.jp/wp-content/uploads/2023/01/GPA制度.pdf 学生便覧に掲載
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本学の教育理念、教育目的に基づき、学士課程のディプロマポリシー(学位授与の方針)を次のように定め公表、実施している。 1. 知識・理解…文化、社会、自然に関する幅広い教養と、専門職業人として必要な知識・理解を身に付けている。 2. 技能…社会人としてのコミュニケーション能力、ICT能力、および専門職業人として必要な技能を有している。 3. 態度・志向性…グローバルな視点から物事を把握しようとする態度、社会への奉仕の精神、人を思いやる心を身に付けている。 4. 総合的な学習経験と創造的思考力…これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を有している。 このディプロマ・ポリシーに基づき制定されたこのカリキュラム・ポリシーにおいても、「実学教育」、「人間教育」、「グローバル人材の育成」といった本学の教育目的の諸要素を明確に示しており、ディプロマ・ポリシーに基づき、2月の卒業判定教授会において卒業認定を厳正に行っている。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.toua-u.ac.jp/education-philosophy-policy/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東亜大学
設置者名	学校法人東亜大学学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.toua-u.ac.jp/financial-information/
収支計算書又は損益計算書	https://www.toua-u.ac.jp/financial-information/
財産目録	https://www.toua-u.ac.jp/financial-information/
事業報告書	https://www.toua-u.ac.jp/financial-information/
監事による監査報告(書)	https://www.toua-u.ac.jp/financial-information/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.toua-u.ac.jp/outline/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.jihee.or.jp/kikanbetsu/2023/39university_of_east_asia.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	○人間科学部	○医療学部	○芸術学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.toua-u.ac.jp/education-philosophy-policy/)			
(概要) 本学は「他人のために汗を流し、一つの技術を身につける(建学の理念)」 「地域に生き、グローバルに考える」「友と出会い、友と生きる」の3つの教育理念を定めている。この3つの理念に基づき、広い教養と豊かな人間性を育む人間教育と、国家資格など資格・免許取得のための教育を行い、「真の実学教育」を目指している。さらに国際的でグローバルな視点を持ち、地域社会との関わりや実習体験を通して、課題探求と問題解決の高い能力を持った人材の育成を掲げ、たくさんの出会いを通して自分の世界を広げ、ひとのため社会のために自分に何ができるかを考える基本的な感性を育てることを目的としている。			
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： https://www.toua-u.ac.jp/education-philosophy-policy/)			
(概要) 教育理念、教育目的に基づき、学士課程のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を次のように定め、実施している。 1. 知識・理解…文化、社会、自然に関する幅広い教養と、専門職業人として必要な知識・理解を身に付けている。 2. 技能…社会人としてのコミュニケーション能力、ICT能力、および専門職業人として必要な技能を有している。 3. 態度・志向性…グローバルな視点から物事を把握しようとする態度、社会への奉仕の精神、人を思いやる心を身に付けている。 4. 総合的な学習経験と創造的思考力…これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力を有している。			
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.toua-u.ac.jp/education-philosophy-policy/)			
(概要) 教育理念、教育目的を達成するために、学士課程のカリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)を次のように定めて公表、実施している。 ・全学共通の共通教育科目を開設し、そのうちに、初年次導入科目「大学基礎」、「人間と文化」「人間と社会」「人間と科学」の3領域からなる教養科目、および外国語科目、キャリア科目を含める。また、正課外の優れた社会的・実践的活動を人間教育科目として単位認定する。 ・各学科の専門教育科目は、基礎的な科目から高度に専門的な科目へと年次進行に即して段階的に配置し、4年次においては卒業研究を必修とする。専門教育科目のうちには、ICT科目を含める。 ・真の実学教育を実践するため、国家資格など資格・免許取得を推進する。加えて、実践的能力を養成するため学内外での多様な実習科目を開設する。			
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.toua-u.ac.jp/education-philosophy-policy/)			
(概要) 本学は、次世代を担う人たちの豊かな可能性に期待を込めて、次のような人を広く求めている。1. 豊かな教養と専門性を身につけた社会人になりたい人 2. 将来の夢や目標を資格取得によって実現したい人 3. 大学で学ぶ中で自分を発見し、将来の夢や目標を見つきたい人 この3項目をアドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)として掲げ、入学者選抜の基本方針に従い入試形態に応じて合否判定を行っている。			

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.toua-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/R07kyoumu_soshikizu.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	4 人	－					4 人
人間科学部	－	23 人	15 人	9 人	人	人	47 人
医療学部	－	16 人	7 人	4 人	人	人	27 人
芸術学部	－	7 人	6 人	2 人	人	人	15 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		125 人					125 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.toua-u.ac.jp/soran/index.html https://www.toua-u.ac.jp/faculty-members/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間科学部	150 人	163 人	108.7%	590 人	624 人	105.8%	－人	4 人
医療学部	75 人	63 人	84.0%	340 人	288 人	84.7%	－人	7 人
芸術学部	75 人	39 人	52.0%	270 人	202 人	74.8%	－人	2 人
合計	300 人	265 人	88.3%	1,200 人	1,114 人	92.8%	－人	13 人
（備考）編入学定員は若干名								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間科学部	138 人 (100%)	5 人 (3.6%)	111 人 (80.4%)	22 人 (15.9%)
医療学部	60 人 (100%)	0 人 (0%)	42 人 (70.0%)	18 人 (30.0%)
芸術学部	49 人 (100%)	1 人 (2.0%)	28 人 (57.1%)	20 人 (40.8%)
合計	247 人 (100%)	6 人 (2.4%)	181 人 (73.3%)	60 人 (24.3%)

(主な進学先・就職先) 東亜大学大学院、岡山大学大学院、北海道大学大学院、東京消防庁、(株)ヨドバシカメラ、いすゞ自動車(株)、(株)博多住吉ホテルマネジメント、(株)ジョイフル明治安田生命保険(相)、沖縄県農業協同組合
(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業科目、授業の方法、年間の授業計画に関しては、カリキュラム・ポリシーを明確に定め、それに則り、体系的な教育課程を編成している。それとともに、学生の自主的、自立的な学修を促すためのさまざまな教授方法の工夫、カリキュラムの工夫を行っている。本学のカリキュラム・ポリシーは「 https://www.toua-u.ac.jp/education-philosophy-policy/ 」にて公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 単位認定、卒業・修了認定に関しては、成績評価基準を明確に定め、教育目的に基づいたディプロマ・ポリシーを制定し、それに即した卒業要件、修了要件を定め、厳格に適用した卒業判定、修了判定を行っている。授業の成績評価の基準は「大学学則」で定められている。60点以上が合格で、100～90点がS、89～80点がA、79～70点がB、69～60点がC、60点未満は不合格となっている。卒業判定に関しては、毎年2月に学部ごとに卒業判定会議が開催されている。そこでは、4年生の成績が卒業要件に照らして確認され、厳正に卒業判定が行われている。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間科学部	心理臨床・子ども学科	124 単位	☒ 有・無	48 単位
	国際交流学科	124 単位	☒ 有・無	48 単位
	スポーツ健康学科	124 単位	☒ 有・無	48 単位
医療学部	医療工学科	124 単位	☒ 有・無	48 単位
	健康栄養学科	124 単位	☒ 有・無	48 単位
芸術学部	アート・デザイン学科	124 単位	☒ 有・無	48 単位
	トータルビューティ学科	124 単位	☒ 有・無	48 単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：様式第2号の3-3に記載		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：東亜大学ホームページ (<https://www.toua-u.ac.jp/campus-guide/>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
人間科学部	心理臨床・子ども	620,000 円	240,000 円	260,000 円	施設費及び実験実習費
	国際交流	600,000 円	240,000 円	190,000 円	施設費及び実験実習費
	スポーツ健康	660,000 円	240,000 円	330,000 円	施設費及び実験実習費
	スポーツ健康 (柔道整復)	780,000 円	240,000 円	520,000 円	施設費及び実験実習費
医療学部	医 療 工	780,000 円	240,000 円	520,000 円	施設費及び実験実習費
	医 療 工 (医療福祉)	620,000 円	240,000 円	300,000 円	施設費及び実験実習費
	健康栄養	680,000 円	240,000 円	350,000 円	施設費及び実験実習費
芸術学部	アートデザイン	840,000 円	240,000 円	380,000 円	施設費及び実験実習費
	トータルビューティ	620,000 円	240,000 円	300,000 円	施設費及び実験実習費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）学生の学修支援に関しては、教職員協働の体制を整備しており、オフィスアワー、担任制、ポータルサイト等を活用して学修支援を行っている。教育目的の達成状況の評価とフィードバックに関しては、「学修成果アンケート」、「授業評価アンケート」、資格・免許取得状況、卒業研究等を通して、学生の学修状況を把握し、教育目的の達成状況を点検・評価し、教育内容・方法及び学修指導の改善にフィードバックしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要）学生の社会的・職業的な自立を支援し、社会に役立つ人材を輩出するため、学部学科から選出された「就職部委員会」及び「キャリアサポート室」の両輪によりキャリアセンターを窓口として学生の進路支援に取り組んでいる。 また、教育課程内では1年次からキャリア科目を配置し、教育課程外ではガイダンス・イベントの開催、個々に合わせた個別相談や履歴書添削・面接練習など進路・就職支援を実施している。学内では教職一体となったキャリアサポート体制を敷き、外部とは各支援機関と連携するなど学内・学外で学生への支援体制を構築している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）健康相談センターを組織し、学内に学生相談室と健康相談室を設置し、心とからだの健康管理に関する専門的な業務を行い、学生及び教職員の健康の保持促進を図っている。 学生相談室は、(1)本学学生の一身上、様々な心の問題に対する相談及びカウンセリング (2)大学教育の一貫として心の発達支援を行うための企画、立案 (3)専門機関関係者及び関係部局に対する連絡、案内及び協力 (4)本学教職員による教育や厚生に対する支援及び相談 (5)相談業務に必要な調査、研究 (6)その他センターの目的達成に必要な業務を行い、学生を支援する。 健康相談室は、(1)定期及び臨時の健康診断 (2)健康相談及び応急処置 (3)環境衛生及び保健管理の充実向上のために必要な調査、研究 (4)保健衛生に関する知識の普及 (5)その他センターの目的達成に必要な業務を行い、学生を支援する。 また、2024年度より障がい学生支援室を開設。本支援室は、(1)障がいを持つ学生の修学や学生生活での困りごとに関する相談の受付 (2)支援ニーズを把握し、合理的配慮申請についての助言と指導 (3)学生の修学支援状況の現状と課題の調査及び報告 (4)学生・教職員等へ障がいのある学生の修学支援に関する理解と啓発を行い、学生を支援する。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.toua-u.ac.jp/soran/index.html>
<https://www.toua-u.ac.jp/news/>

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F135310110112
学校名（〇〇大学 等）	東亜大学
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人東亜大学学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		124人（ ）人	116人（ ）人	129人（ ）人
内 訳	第Ⅰ区分	67人	65人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅱ区分	33人	33人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅲ区分	18人	－人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	－人	－人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－人	－人	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ ）人
合計（年間）				129人（ ）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	-人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-人	人	人
計	13人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	-人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	-人
年間計	-人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	-人	人	人
GPA等が下位4分の1	-人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	27人	人	人
計	28人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。